

「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」助成決定団体一覧

佐賀県共同募金会

令和2年 11月 現在

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
1	社会福祉法人上峰町社会福祉協議会	佐賀県三養基郡	生活困窮世帯や子どもに対する事業を展開する団体への食料提供のための整備事業	令和2年2月に上峰町社協フードバンク事業を開始したばかりだが、食料品は佐賀県社会福祉協議会を經由してセブンイレブンジャパンより寄贈していただき、在庫として保管してきた。新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言の影響を受けてからの活動としては、3月に生活困窮母子世帯への食料支援を行い、放課後児童クラブへのお菓子配布などを行った。4月には緊急小口貸付相談者への緊急的な食料支援を行い、感染拡大防止の影響で小学校が突発的且つ長期的に休校となったため、当協議会と放課後児童クラブを共同運営するNPO法人へ食料等を提供した。	300,000
2	ボランティアDIWA	佐賀県鹿島市	生活困窮家庭への食料・生活物資援助や、児童養護施設の利用者さんへの食料・生活物資援助	支援農家の協力を得て、野菜や食料の配布 訪問時に心配事相談 一部は、昨年の水害被害と、コロナによる休業先に勤務で収入が減ったなどの被害を受けた家庭もあるため、学用品や食料品生活物資の支援が急務のところも多い。	300,000
3	社会福祉法人鳥栖市社会福祉協議会	佐賀県鳥栖市	フードバンク事業の拡充	<p>本事業は、平成28年10月から、市と協議を重ねながら少しずつ形作られてきた事業である。現在のところ、大きな予算も発生せず、多くの方々の善意と関係機関との連携を深めていくことで成り立っている。</p> <p>フードバンクさが、鳥栖市商工会議所関係企業、民生委員・児童委員等の福祉関係者に対して食料提供をお願いし、本会において食料を備蓄している。本事業の利用者は、市や市教育委員会のケースワーカー、スクールソーシャルワーカーが自立に向けて支援を行っている生活困窮者であり、専門機関の職員を通じて食料提供を行う。</p> <p>参考として、これまで対応した家庭を記載しているが、主に生活保護が決定し、支給されるまでの期間の食料支援として、また、市教育委員会の利用ではネグレクト等の虐待を受けている家庭を訪問する際の今後の支援に向けてのきっかけづくり、継続した支援としての食料支援としての食料提供として非常に高い効果を上げている。</p> <p>(参考) これまで対応した家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離婚したが、すぐに生活が困窮した家庭 ・離婚して母子で実家に戻ったが、実家に母子を養える経済的余裕がなかった家庭 ・母親に就労できない事情があり、生活保護を申請したが、今回の新型コロナウイルスのための休校措置で思わぬ食費がかさみ、困窮した家庭 ・父母ともに就労しているが、低収入で生活が困窮している世帯 <p>訪問の口実としても本事業は活用しており、お米のほかにも多くの副食、お菓子も渡しているの子ども達も非常に喜び、母親も訪問を受け入れ、よく話をしてくれるようになったとの報告も受けている。</p>	100,000
					300,000
4	スマイルキッズ	佐賀県佐賀市	とどける つながる「とどけYELL」新型コロナウイルスの影響による緊急サポート	通常の活動とは別に、休校になってひとりでお留守番をしている子どもにおやつを届けたり、コロナの影響で仕事を無くしたり、休業をせざるを得ない家庭に食料や日用品をお届けする。	300,000
5	NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会	佐賀県小城市	放課後児童クラブ水遊び大作戦（佐賀県内の放課後児童クラブに水遊びグッズを購入・分配）	放課後児童クラブでは、3月から現在まで、学校が休校になる中も開所をして働く保護者と子どもたちを支えている状況が続いている。今回のコロナ感染予防対策が続く中で放課後児童クラブでも活動の自粛が続いており、夏休みにプールが禁止になるところが相次いでいる。しかし、子どもたちの生活や健全な育成を守るためには、遊びがとても重要である。暑くて長い放課後児童クラブでの一日の中で子どもたちに水遊びを楽しんでもらい、放課後児童クラブでの楽しい思い出を作ってほしい。しかし、放課後児童クラブは厳しい予算の中で運営されているため、子ども用のプールを準備し、希望する放課後児童クラブに配布したい。	300,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
6	循誘子どもの居場所づくり実行委員会	佐賀県佐賀市	循誘子どもの居場所づくり	<p>対象となる循誘地区は佐賀市内でも非課税所得の家庭も多く、貧困率が高い地域である。家庭事情による貧困のために子どもが進学を諦めたり、満足に生活できない、自己肯定感が低い等の問題があり、貧困の連鎖に陥っている。</p> <p>そのような問題解決のため、2017年に地域が主体となって実行委員会を立ち上げ、大学生ボランティアを募り、子どもたちと地域を繋げる居場所づくりを行っている。今では、子どもたちにとって安心して自分らしく過ごせる居心地のいい場所になっており、地域の大人との交流も増え、信頼関係も築かれてきた。</p> <p>資金の確保によって更なる活動の内容充実を図り、活動を継続することで、地域全体が互いに助け合える環境や、より密な繋がりを作ることが期待できる。</p>	50,000
7	特定非営利活動法人十月の森	佐賀県武雄市	ビデオ録画による職場訪問	<p>当事業所の利用者は、通信制の在校生である。そのため、かれらの卒業後の進路指導に重きを置いている。その一環として、県内のさまざまな職場を訪問し、現場の人たちの声を聞くなどの活動に取り組んできた。</p> <p>しかし、新型コロナの影響で、集団での職場訪問が難しくなったため、スタッフが機材を持ち込み、そこで撮影し、それを生徒に見せる取り組みを行うこととした。</p>	272,000
8	社会福祉法人上峰町社会福祉協議会	佐賀県三養基郡	新型コロナウイルス感染世帯等への食料支援のための整備事業	<p>在宅療養中の新型コロナウイルス感染世帯（濃厚接触者も含む）等への支援策として、8月よりフードバンクと買物代行サービスをコラボした事業を立ち上げ、支援に向けた準備をしてきた。感染世帯には1週間程度の食料品をフードバンクより見舞品としてお届けし、不足するものについては買物代行による支援を行う。感染者等とは対面せず、買物料金は社協が立て替えをし、完治後に振り込んでいただく仕組みとしている。当町でも8月23日に感染者が初めて確認されたので、今後はクラスターによる感染者の増加を想定して十分な食料品の確保を行いたい。</p>	300,000
9	スマイルキッズ	佐賀県佐賀市	とどけYELL	<p>宅食登録家庭（ひとり親世帯）のほとんどが、経済的貧困が多く、中には親の精神疾患で、毎日当たり前の生活ができていないという現状がある。</p> <p>行政等と連携しており、行政相談窓口からの依頼→ヒアリング→アウトリーチを行い、家庭課題があれば、行政等と協議をし、その家庭にあった支援をし、見守る活動。</p> <p>この助成事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的貧困に陥っているひとり親世帯で、来年度中学・高校入学予定（決定）のお子さんを対象に、新品の体操服（上下1セット）もしくは、新品の通学用ヘルメット+新品のアルトリコーダーを贈り、楽しく学校生活が過ごせるように支援したい。</p>	300,000
10	にじいろぽけっと	佐賀県小城市	子ども宅食にじいろ便	<p>新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮している世帯や、就学援助、児童扶養手当の受給世帯を対象に、お米や食料品、学用品を届ける。</p>	200,000